

## (事例 4) 鉄鋼業、港湾荷役業等

－ 構内協力会社としての試み！ －

### 1 規模

構内 253 名( 全社 273 名)

### 2 リスクアセスメント等実施体制( 資料 No4-1)

実施体制	役職等
統括管理	総括安全衛生管理者
実施管理	各部長( リスクアセスメント責任者)、各課長( リスクアセスメント実行責任者)、社リスクアセスメント推進委員会( 委員長: 総括安全衛生管理者、副委員長: 総括代理、委員: 各部推進リーダー、安全チーム)
作業指揮	課リスクアセスメント実行推進委員会( 推進委員長: 安全推進リーダー、副委員長: 係長・課員、委員: 総作業長・作業長・工長・リーダー、サポート: 安全チーム)

### 3 リスクアセスメント等導入時期( 資料 No4-2)

開始年月日	実施内容
平成 18 年 1 月	労働安全衛生マネジメントシステム啓蒙期間
平成 19 年 1 月	リスクアセスメント準備期間として実施
平成 19 年 10 月	「安全衛生方針」の表明実施
平成 20 年 1 月	リスクアセスメントトライアル期間として実施
平成 21 年 1 月	リスクアセスメントを本格的に開始

### 4 リスクアセスメント等導入のきっかけ

安全週間等の各種安全衛生説明会や外部情報により労働安全衛生マネジメントシステム( OSHMS、Occupational Safety & Health Management System) やリスクアセスメントについて啓発を受け、当社にとって実際的で安全衛生活動が継続的に維持向上のために、本質安全化や安全技能の伝承等、災害防止につながる新しい施策であると判断し、リスクアセスメント等を導入することにしました。

### 5 「危険性又は有害性の特定」で成功した事例又は苦勞した事例( 資料 No4-3) 〈苦勞した事例〉

多種に渡る作業の違い及び特異性があるため、危険性又は有害性を特定する根拠に多様な意見があり、統一した根拠設定に苦慮しました。

( 一例 ) 玉掛け作業( クレーンは他社所管、玉掛け作業のみ作業場所固定)

設備補修作業（他社設備の設備補修、作業場固定なし）  
設備保守作業（他社設備の設備保守、作業場ほぼ固定無し）  
運転業務（クレーン、車両運転業務のみ） 等

〈成功した事例〉

たたき台となる資料を作成し、リスクアセスメント実施事前説明会にて説明実施。全従業員に受入れられる様、「特定するテーマ」を設定し共通認識を図りました。

6 「リスクの見積り」で成功した事例又は苦勞（失敗）した事例

〈苦勞した事例〉

事前に課リスクアセスメント推進委員に対し教育を実施していたものの、実際に災害となった場合の「ケガのひどさ」の見積もりを安値に「死亡」と判断したケースが多く、最終的にリスクレベルを不用意に上げる要素となっていました。

〈成功した事例〉

被災の度合いについては、実際に判断が難しい。しかしながら、職場の今までの経験や災害事例を基に再勉強を行い、判定を現実的な判断として下せるようにした。

7 「リスクアセスメント実施状況の記録と見直し」で成功した事例

- (1) 平成 20 年をトライアル期間として設定し、部課より各一職場ずつ選出してリスクアセスメントトライアルを実施しました。トライアル期間を設けたことにより、本格運用前に自職場で考える時間を与えることができました。また、トライアル期間を実行することにより、記入フォーマット等の問題点を把握することができました。
- (2) 書式変更する際には、「改善前」と「改善後」の写真図を書式に組入れることにより、どの様に作業場（作業環境）が本質安全化に向けて改善したのか一目瞭然となりました（資料 No.4-4）。

8 リスクアセスメントの効果

- (1) 本格実施の前にトライアル期間を設定することで、「PDCA を回していくと、安全管理体制が向上し、安心して働ける環境が出来上がっていく」という意識を高める効果がありました。
- (2) 今までリスクというものが、抽象的（定性的）であり判断する人間（担当）により、そのリスク対処にバラツキがありました。リスクアセスメントを導入することにより、それが具体化（定量化）し、社として明確な判断を下せるようになりました。
- (3) 当社においては、自社所有設備での作業は少ないのですが、発注元所有設備を使用する作業について改善要望を要請する際、有力なツールとなり発注元と共に改善を行なえるようになりました。

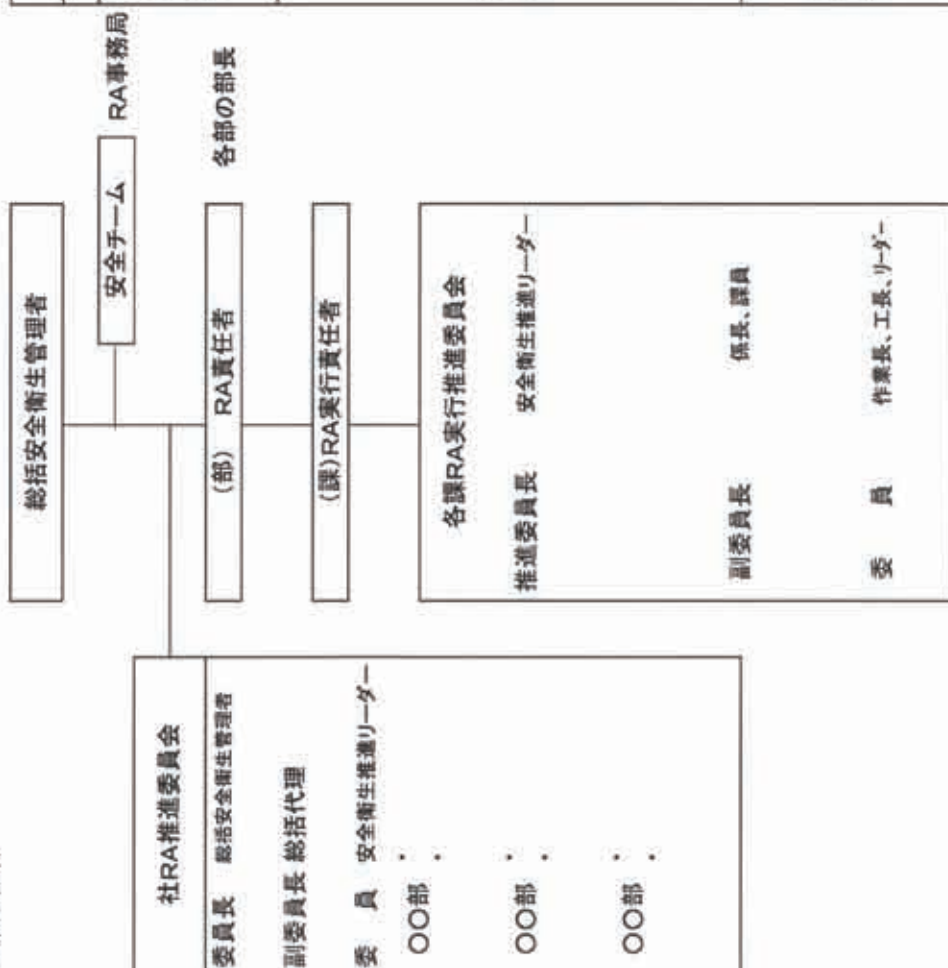
# 平成〇〇年 リスクアセスメント活動推進体制

## 1.活動方針

潜在する危険性を体系的に評価し、評価に基づく対策を計画的に行って本質安全化に向けた取組活動を行う。

H〇〇年スローガン「全員で計画・挑戦！ 職場から無くそう潜在危険の芽」

## 2.推進体制



各課RA実行推進委員会					
登録No	職場名	推進委員長	副委員長	委員	メンバー(員数)
01	〇〇職場	各推進リーダー	係長、課員	職場作業長 工長、他	
02					
03					
04					
05					
06					
07					
08					
09					
10					
11					
12					
13					
01					
02					
03					
04					
05					
06					
活動参加者合計					

労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)に関する移行スケジュール		RA試行(17/7/6)期間		RA本格的実施システム構築(17/7/6)期間-OSHMS認証取得準備期間	
実施事項	時期	H18	H19	H20	H21
教育・研修	1. 推進リーダー 事前RA勉強会	8名	RA研修参加リーダー 8名	RA研修参加者 23名	OSHMS各課長出席教育 推進リーダー教育 OSHMSシステム実装 システム実装者 システム実装者 システム実装者
実績値		8名	23名	4~9月 17/2/10-23 3/11-16-23 4/22-5 10/25-5	4月~ 3月 2月 6~8月 11月 12月
組織・推進体制			RA委員会設置 RA実行推進 社RA推進委員会設置 社内安全衛生推進者 社長事前説明	OSHMS各課長出席教育 推進リーダー教育 OSHMSシステム実装 システム実装者 システム実装者 システム実装者	OSHMS各課長出席教育 推進リーダー教育 OSHMSシステム実装 システム実装者 システム実装者 システム実装者
実績値			9/27 10/11 10/10 11/12(月)		11月
文書類の新規			RA実装資料作成 RA資料作成 RA資料作成 RA資料作成	OSHMS実装資料作成 OSHMS実装資料作成 OSHMS実装資料作成	OSHMS実装資料作成 OSHMS実装資料作成 OSHMS実装資料作成
実績値			10月	7月	11月
RAの実施			RA実装の体	RA実装の体	RA実装の体
実績値			11月	12月	1月
システム監査			システム監査	システム監査	システム監査
実績値			11月	12月	1月
OSHMS実装運用			中央労働災害防止協会マネジメントシステムセンター 認定料 1008K円 認定期間 3年 更新料 1008K円	OSHMS実装運用	OSHMS実装運用
実績値			11月	12月	1月



危険有害要因抽出表 抜粋		特定作業		事務用品(安全チーム)受領用 リスクアセスメント推進委員会	
部		I 特別作業	II 突込み作業	III 通常に洗い出した危険有害作業	IV 作業前/作業中/作業後
ページ数	/	対象	対象	対象	対象
<b>現状把握(抽出・洗い出し)</b>					
対象		安全対策		改善 想定	
本設備に関わる作業		現状の対策内容		想定される 災害の種類	
危険部に接触、或いは 危険域内に侵入する (可能性のある)作業の 内容		作業区分		想定される 具体的災害内容	
取組名( )		①定常 ②取組み ③訓練 ④清掃 ⑤保守作業 ⑥点検 ⑦トラブル処理 ⑧その他		①洗剤・湯をひかれ ②熱気/風等 ③塵埃 ④蒸気 ⑤粉じん ⑥ガス ⑦作中の定常・修理/動作 ⑧その他	
		危険部/接触、或いは 危険域内への侵入 によっておきる 可能性		①可能性が非常に高い ②可能性が高い ③可能性がある ④可能性が低い	

**業務指導票 抜粋**

VI. リスクアセスメント (RA) 実施手順

《手順》

情報の入手

\* 危険性又は有害性等の調整に必要な情報の入手と活用

- ① 機械設備の仕様書、取扱説明書、災害事例や設備周辺のレイアウト、及び環境に関する情報
- ② 化学物質については、安全データシート (MSDS) や試験データ、危険有害性に関するデータシート等の入手
- ③ 作業現場における有害ガス、蒸気、粉じんに関しては作業環境測定と健康診断の結果
- ④ 作業方法・作業環境に関しては災害事例、ヒヤリハット報告、動作点検や危険予知訓練報告、改善提案書、安全衛生パトロール結果等
- ⑤ 作業手順書、作業動作基準
- ⑥ 労働安全衛生関係法令、行政指導指針等

《作業の内容》

危険性、又は有害性の特定

(I) 調査実施対象の選定

- ① 過去に労働災害が発生した作業
- ② 負傷、又は疾病の発生が合理的に予見できる作業  
(リスクが大きいと思われる作業から対象を広げる)

(II)-1 特定 (洗い出し)

- ① 特別作業・気になる作業等、過去に洗い出した危険有害作業
- ② 作業手順書、作業動作基準書の活用
- ③ 現場で働く作業員等から、日頃感じている危険性や健康衛生面の影響について意見を聞く等のヒヤリングの実施
- ④ 危険有害と思われる作業を、チェックシート (別紙) を使って洗い出し

### リスク低減策の実施計画&実施結果 抜粋

リスク低減策の実施計画&実施結果

実施項目	実施場所	実施時期	実施計画												実施状況
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
...	...	...													

### リスク低減策の実施計画&実施結果

リスク低減策の実施計画&実施結果

実施項目	実施場所	実施時期	実施計画												実施状況
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
...	...	...													

トライアル期間に、実際に書式を使用することによって、問題点・改善点を摘出し、より使いやすい書式に変更した